

○地域包括支援センターでの地域ケア会議

1 個別地域ケア会議

実施回数

(回)

| | 直営 | 西部北 | 西部南 | 中部 | 東部 | 計 |
|-----------|----|-----|-----|----|----|----|
| R元年度 | 5 | 5 | 9 | | | 19 |
| R2年度 | 5 | 5 | 8 | | | 18 |
| R3年度(1月末) | 4 | 7 | 8 | 0 | 1 | 20 |

【主な内容】

認知症、虐待、権利擁護、精神疾患など

2 自立支援型地域ケア会議

| | 担当包括 | テーマ |
|-------------|------|--|
| R2年度 第1回 | 西部南 | 認知症と診断されたが本人病識なく今後一人暮らしを周りが心配しているA様 87歳 |
| 第2回 | 直営 | 帯状疱疹をきっかけに、生活に意欲が持てなくなった81歳女性(六ツ師地区) |
| 第3回 | 西部北 | 新型コロナ感染予防のためにヘルパー利用を中止し、ゲームセンターにも行けなくなってしまった独居高齢者(中之郷地区) |
| 第4回 | 西部南 | 身寄りのない独居の人がペットと暮らし続けるための支援を考える |
| 第5回 | 直営 | 転倒を機に閉じこもりがちになった70歳の女性の支援を考える(久地野地区) |
| 第6回 | 西部北 | 100歳になっても安心して暮らしていける町、北名古屋市 |
| R3年度 第1回 | 西部南 | 妻を亡くした不安から、傾聴ボランティア利用していたが、サービス中止になった事例。 |
| 第2回 | 直営 | 本人が望むサービスを整えることが難しく、4年半歩行器を貸与している79歳女性 |
| 第3回 | 西部北 | 認知症を隠さず暮らせるまちに必要なことは何かを考えてみる |
| 第4回 | 西部南 | 60代後半の独居男性、生活意欲低下と孤独な生活。セルフネグレクトの支援を考える |
| 第5回 | 西部北 | 「家でゴロゴロしているのが楽だけど動かないといけない」と意識し始めている男性。 |

【実施方法】

令和元年度までは、集合形式で30～40名の参加者で行っていた。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響で、電子@連絡帳(レインボーネット)のプロジェクト機能を利用し、意見を出し合う方式で開催。

【参加代表者】

医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネ会、歯科衛生士、看護師、理学療法士、作業療法士、在サポ、訪問介護、生活支援コーディネーター、通所事業所、福祉用具、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー

レインボーネットの利用で深い意見交換が難しい反面、都合の良い時間帯に参加したり、事業所内で意見交換するなど、集合形式では参加できなかった者の意見も反映することができた。